



11月号
468号

筑後市社会福祉協議会
(〒833-0032 筑後市野町680-1)
TEL 52-3969
FAX 53-6677
Mail info@chikugo-shakyo.or.jp
URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに…それが社会福祉協議会の目標です。

市民福祉のつどい 福祉活動実践者合同研修会 ～より豊かな支え合いの関係性を築くために～



▶ 芹田さん
(NPO法人しようがい生
活支援の会すみか/鳥栖市)

9月25日(水)に開催した第60回市民福祉のつどい。芹田洋志さんを講師に迎え「より豊かな支え合いの関係性を築くために」をテーマにお話しいただきました。車いすユーザーの芹田さん。冒頭、趣味の旅行の話、パラグライダーの経験談、障害者プロレスラーとして活動していた話などをされました。そうした話の後「『障害者』の言葉に、どんな人をイメージしますか?」と会場に投げかけます。

「障害者は支援される側」
障害者の中にもある意識

「障害者」という言葉にどう
いう人をイメージしますか?
「困っている人」「できない
人」となっていますか?困っ
ているところ以外が見えていま
すか?

社会福祉士の実習で、障害者
の施設に行った時です。入所者
の1人に、「おまえは介護され
る側の人間だろ」「支援する側
の人間ではないだろ」と言われ
ショックを受けました。

その入所者の方の中にも「障
害者は援助される方」という意
識があり、それを私にあてはめ
ようとしたのです。

障害者の中にも「障害者は支
援される側」という意識がある
ことを感じたエピソードでした。

助けたり、助けられたり
そんな関係性が支え合い

支援され続けることは幸せで
しょうか?
支援を受け続けることは「あ
りがとう」を言い続けること
になります。

「ありがとう」が義務になると、
「自分はこの人がいないと
生きていけないんだ」と、自
己肯定感の低下にもつながりま
す。
そう考えると、支援し続ける
だけでは豊かな支え合いとは言
えないのかもしれない。
時には助けたり、助けられた
り、どちらの立場にもなれるよ
うな関係性を目指すことが、支
え合いのヒントなのかもしれま
せん。



赤い羽根共同募金 親子でボランティア体験



正しいだけが
正解とはかぎらない

例えばアルコール依存症の人に「お酒を控えましょう」と伝えているのに、家に帰ったら、自分は晩酌をし、家族にお酒を控えるように言われる。なんとなく息苦しさはありませんか？
確かにお酒を控えることは正しいです。しかし、正しいことだけを言い続けるのは、必ずしも正解ではないかもしれません。

「障害者と健常者」ではなく
大切なのは「人と人」

障害者同士のカウンセリングの研修を受けた時「お互い当事

者だから分かり合えるよね」という空気感がありました。

確かに同じ障害者同士だから分かり合える部分はありませんが、障害者同士だからといってなんでも分かり合えるわけではないと感じました。

健常者と障害者でも、違う部分や、共通の部分（ファッションに興味がある、旅行が好きなど）があります。

障害者、健常者とする途端に壁ができてしまいがちですが、大切なことは「人と人」として当たり前にあなたも大事、私も大事とつなげていくことです。

今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動がスタートしました。

筑後市支会では10月6日に「親子でボランティア体験」と題してイベントを行いました。

赤い羽根共同募金の必要性や歴史、使い方を学習した後、ゆめマート筑後店様、よらん野様で街頭募金を行いました。

多くの方がご協力してくださり募金が集まりました。参加者の皆様、ご寄付いただいた皆様、ありがとうございました。

楽しみながら

福祉を学ぶ★



今回で5年目の「おやこdeなぞときクエスト」。2日間（9月21日・22日）で、60世帯18名（子ども104名・おとな77名）にご参加いただきました。

例えば点字や手話、車いすを使って解くクイズや、回答すると総合福祉センターが避難所になることが分かるクイズ、避難所になった時に使用するテントを見ることが出来るコーナーがあり、親子で一緒になぞときをしながら、福祉のことを学びました。母親と一緒に参加した小学

おやこdeなぞとき クエスト2024



校3年生の女の子は「クイズを解くのが面白かった。福祉センターって避難所なんだね」と話してくれました。

父親と一緒に参加した小学生の男の子は、「お父さんと一緒に解けておもしろかった。色々福祉のことを知ることができたのでよかったです」と話してくれました。また、お父さんは「私も楽しく学べてよかったです。楽しい時間を過ごしました」と言われていました。

なお参加費の300円は全額赤い羽根共同募金への寄付金とさせていただきます。

2024年(令和6年)11月1日(3)

職員募集！「福祉のまちづくりのためにいっしょに汗を流しませんか…」

筑後市社会福祉協議会では下記の要領で職員を募集します。みなさまのご応募をお待ちしております

雇用形態	①正規職員 A	②正規職員 B	③常勤嘱託職員 A	④常勤嘱託職員 B
採用予定人数	1名	1名	1名	2名程度
職種(業務内容)	総務福祉課における地域福祉活動全般に関する業務を担当	在宅、施設でのホームヘルパー業務・サービス提供責任者業務・高齢者相談業務・障害児者相談業務	総務福祉課における地域福祉活動全般に関する業務を担当	ホームヘルパー、サービス提供責任者等
予定配属部署	総務福祉課	在宅福祉課	総務福祉課	在宅福祉課
資格要件	昭和50(1975)年4月2日以降に生まれた人で福祉に理解と関心がある人。必須ではないが①社会福祉士、②精神保健福祉士等の有資格者(資格取得見込み者も含む)がより望ましい	昭和50年(1975年)4月2日以降に生まれた人で①介護福祉士、②ヘルパー初任者研修修了者、③介護支援専門員、④相談支援専門員、⑤社会福祉士、⑥精神保健福祉士のいずれかの有資格者(資格取得見込み者も含む)	福祉に理解と関心がある人	①介護福祉士、②ヘルパー初任者研修修了者のいずれかの有資格者
給与	社協就業規則による取扱い ※前歴換算あり ※期末手当、住居手当、扶養手当、通勤手当等別途支給		月額200,900円 ※期末手当、通勤手当別途支給	月額203,800円～ ※期末手当、通勤手当別途支給
試験内容	作文・面接		面接	
採用予定日	令和7年4月1日			

勤務先 筑後市社会福祉協議会(筑後市野町680-1)

将来的に人事異動や担当業務の入れ換え等の可能性もあります。

試験日 令和6年12月21日(土) 9:00～ ※ただし終了時刻は①②③④で異なる場合があります。

会場 筑後市総合福祉センター(筑後市野町680-1)

応募方法 市販の履歴書に必要事項を記入し、資格証明書(または資格取得見込み証明書)の写し、または研修終了証明書の写しとともに、12月2日(月)17時必着で筑後市社会福祉協議会へ提出して下さい(〒833-0032 筑後市野町680-1)

その他 応募の際、①、②、③、④いずれかの希望雇用形態を履歴書の上部に記載いただきますようお願いいたします。

**申込み
問合せ** ①③筑後市社会福祉協議会 総務福祉課
TEL 0942-52-3969

②④筑後市社会福祉協議会 在宅福祉課
TEL 0942-52-9016

不登校・ひきこもりの方の家族会

サルビアの会に来てみませんか？

同じ立場なら話せる！分かり合える！

とき 11月3日(日) 14:00～15:30

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

内容 学習会

対象者 不登校やひきこもりの方の家族

問合せ 筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677

✉ info@chikugo-shakyo.or.jp

ひきこもり家族相談会

とき 11月21日(木) 13:00～16:00

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

★11月14日(木)17時までに要予約

(1日限定3名・匿名可)★原則来所での相談

問合せ・予約 筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677

この広報紙は、点訳・音訳版も発行しています。ご希望の際は気軽にお尋ねください。

社会福祉事業資金寄付

★香典返し寄付の部★

坂本 好教様(故 田中 常男様) 折地

中尾 俊明様(故 由記子様) 常用

大久保 佳史様(故 佐喜子様) 野町

秋山 節子様(故 喬様) 一条

中村 浩二様(故 巖様) 下妻

堀川 みち子様(故 俊二様) 溝口南

辻 公子様(故 保幸様) 野町

山口 一郎様(故 ツグヨ様) 富重

西村 久子様(故 和己様) 山ノ井東

中村 美也子様(故 リツ子様) 西牟田町

北島 秀行様(故 チエノ様 津島西

匿名様(1件)

★一般寄付の部★

○匿名様(1件)から現金の寄付がありました。

★計三九二、〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付

●預託の部(物品口座)

○大久保佳史様(野町)から紙お

むつ・下着等の寄付がありました。

○立山康弘様(和泉中)から野菜の寄付がありました。

子育て世代を食で応援! プロジェクト



市民の皆様から寄付いただいた食品(お米など)を無料配布します。

日程: 11月15日(金) 17:30~18:30

対象: 小中学生の子どもがいる世帯

※数に限りがあります

※1世帯1セットの配布です

※筑後市在住の方に限ります

※ひとり親家庭の方は除きます。偶数月第2週目を実施する「ひとり親家庭のためのフードパントリー」をぜひご利用ください。

会場: 筑後市総合福祉センター

○事前の申込みは不要です。直接お越しください。

問合せ/ 筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677
✉ info@chikugo-shakyo.or.jp



LINE公式アカウントが
リニューアル!
リニューアル!
さまざまな情報をお届け!
友達追加はこちらから



【いずれも9月1日~9月30日まで】

○匿名様(1件)からマスクの寄付がありました。

○匿名様(3件)からオムツの寄付がありました。

○匿名様(2件)から食品の寄付がありました。

○(株)プレシア様(下北島)からお菓子の寄付がありました。

○JAふくおか八女よらん野菜(前津)から野菜の寄付がありました。

精神障害のある人のための

居場所・交流スペース **かたる〜む**

★11月の開設日のお知らせ★

とき 11月8・22日(金) 13:30~15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

問合せ 筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677

✉ info@chikugo-shakyo.or.jp



事務局通信

先日、コインパーキングから出るためにお金を払おうとしていたとき、すぐそばで自転車が止まりました。見ると、高校生らしき男の子で、鼻血が出ていたようでした。

心配に思いましたが、ジロジロ見るのも失礼だし、知らない大人に声をかけられても迷惑かもな、と声をかけられずにいました。

すると、その高校生が「すみません。鼻血がでました。ティッシュはありませんか?」と私に声をかけてくれたのです。

私は、「大丈夫?」とティッシュを取りにいきながらやっとその高校生に声をかけることができました。

少しすると鼻血が止まり、お礼を言われました。私もお礼を伝えました。その高校生が声をかけてくれたおかげで、すがすがしい気持ちで帰ることができたからです。

何か困っているような人がいたら協力したいと思っても、相手にとってそれが良いのか悪いのかわからず、躊躇してしまうこともありま。す。「助けて」と言ってもらえたらそのハードルはぐっと下がるんだなと思った経験でした。

(中)